10　家庭

学校番号	２０２

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭総合「明日の生活を築く」（開隆堂出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

○自分の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活につながるよう取り組みましょう。
・家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。
・家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
・実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身につけます。
・これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

2　学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざしして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 製作物 実技テスト 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	着る	○人間と被服 ＊浴衣の着用 ○被服の選択 ○被服の着用 ○被服の管理 ＊洗剤・漂白剤を知る ○被服をつくる ＊エプロン製作実習＊ ○これからの衣生活	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：被服の機能，文化，着装，被服管理について関心をもち，実生活で活用しようとする態度がみられる。 b：被服に関わる様々な課題について考えることができているか。 c： 被服管理や被服製作についての技術が身についている。 d： 衣生活の内容について必要な知識を身に付け，科学的にも理解できている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート 実習記録 製作物
2	食べる	○人間と食べ物 ＊自分の食事を振り返る ○食品と栄養 ○食品の衛生と安全 ＊腐敗の実験 ○食事を調える ＊献立を立てる ○調理の基礎 ＊調理実習 （和食・中華・洋食） ＊食品実験・実習 （マヨネーズとバターづくり） ○これからの食生活	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a：自分の食生活を振り返り，学習した内容を活用しようとする態度がみられる。 b：食品についての特徴を観察等から推測し考えることができる。食品廃棄についても考えられる。 c：食生活を営むにあたり、栄養を考慮でき、食品の特徴や調理技術、食品の衛生や安全などの技術を身に付けている。 d：栄養、食品、調理、食品衛生等を実験や実習で科学的に理解し、食生活に必要な知識を理解している。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート 実習記録

		ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ＊食に関する自由テーマ 家庭における伝統料理、環境を考えた食のテーマなど 個人調査研究・発表	○	○	○	○	a：主体的に取り組もうとしている。 b：生活の課題を見つめ，そのために必要なことを調べたり，考えたりできる。 c：テーマに沿って実施できている。 d：ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動に関わる必要な知識を身に付けている。	授業観察 レポート 製作物 発表 自己評価 相互評価
3	子どもの発達と保育・福祉	○子どもの発達と生活 ＊調製粉乳実習 ＊離乳食実習 ＊幼児食実習 ＊沐浴実習 ○子どもとかかわる ＊子育て経験者に聞く ＊しつけを考える （親教育教材） ○親の役割と子育て支援 ＊「叱る」を体験する ○子どもの権利と福祉	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a：子どもの発達・保育・福祉について実習を通して意欲的に学ぼうとする態度がみられる。 b：子どもに関わる課題や問題について，メディアからの情報についてその原因や対応について考えることができる。 c：子どもの心身を健全に育む技術を身に付けている。 d：子どもを育てるために必要な知識を身に付け，社会的支援の活用についても理解できている。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査 レポート 実習記録 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。